

## 実践事例 9

訪問学級生徒が注視をするための動画の活用			
キーワード	訪問学級、日常生活の指導、カメラ（動画／i P a d標準搭載）眼球、注視、友達からのメッセージ		
学年 領域・教科	高等部3年 訪問学級 日常生活の指導	単 元 名	はじめの会
<b>使用したアプリ等の概要</b>			
アプリ名等	・カメラ（動画／i P a d標準搭載）		
このアプリで できること	・i P a d標準搭載のカメラは、写真撮影、動画撮影ができる。		
<b>授業の概要</b>			
授業のねらい	・声や音がする画面の方向に顔を動かしたり、画面を注視したりする。		
I C T活用の 概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭での訪問学習の始めの会の日付を確認する場面で使用した。</li> <li>・同学年の友達からのメッセージ（日付と一言）を動画で再生し、提示した。</li> </ul>		
<b>児童生徒の変容と授業の評価</b>			
<ul style="list-style-type: none"> <li>① i P a dを使用しなかった際に考えられる児童生徒の様子               <ul style="list-style-type: none"> <li>・音源を探そうと眼球を動かしたり、頭を動かしたりしたと考えられる。</li> </ul> </li> <li>② i P a d使用時の児童生徒の様子の変化と授業の評価               <ul style="list-style-type: none"> <li>・画面を生徒の見えやすい位置に提示すると、音源を探して顔を動かしたり、眼球を動かして画面を注視することがあった。</li> <li>・学校行事の様子を動画で視聴する学習を重ねていたこともあり、i P a dから友達の声が聞こえると瞬きしたり、頭をヘッドレストから離してもたげ、左右に動かす場面が増えた。</li> <li>・友達同士の会話が聞こえると、笑顔になることもあり、友達の声を認識していると思われる場面が見られた。</li> </ul> </li> </ul>			